

平成25年度 秋の避難訓練・防災講話

11月12日(火)に、秋の避難訓練・防災講話を実施しました。今回は、6校時に地震が発生(北海道中部を想定)、その直後に1階調理室から出火するという想定です。「緊急地震速報」とともに、教室内の生徒は机の下に身体を隠し、教室外では上から物が落ちてこない場所に瞬時移動します。その後、教科担任の指示のもと、冷静に安全な場所へと避難するまでが一連の動きとなっています。

緊急時にあっては、教師と生徒が如何に安全・適切・迅速に対応できるかが鍵となります。そのためにも、学校防災管理規定や防災に係る業務策定計画等を関係者全員が理解すること、また、生徒自らが自己の危機管理に敏感になることが大切です。

また、防災意識をより高め、大災害時に自らの判断で取るべき行動を考えることができるよう、防災に関わる専門的な講話も実施しました。



本校の生徒は、卒業後全国各地の大学へと進学していくことから、防災意識のより向上を図るため、11月11日からの一週間を、旭川東高校での「防災週間」と位置づけました。

① 旭川市洪水ハザードマップの展示

河川が氾濫した場合に浸水が想定される場所を確認することを目的に談話室に展示しました。

② 避難訓練の実施

授業中に直下型地震が発生、それに伴い火災が起きたという想定です。生徒たちは何をすべきかをよく考え、真剣に取り組んでいました。

今回のポイントは、煙対策のために避難時にハンカチなどで口を覆い、出来る限り低い姿勢で移動することを念頭に実践しました。



③ 防災講話の開催

北海道大学大学院理学研究院附属地震火山研究観測センターから定池祐季氏をお招きし、防災に関わる講話を開催しました。北海道南西沖地震、阪神淡路大震災、東日本大震災の教訓についての講話を通して、大災害時に自らの判断で取るべき行動についてお話いただきました。



■ 「防災・減災」の基本は

- I 災害をよく知ること
- II 自らを取り巻く環境を知ること
- III それらの知識を生かすこと (講演より)

④ 防災チェックリスト

「平常時の備え」、「地震発生時に被災しないために」、「災害発生後」、「避難所生活」について、チェックリストを生徒に配付し、講演に合わせて確認しました。